

責其責未嘗不爲其精門之者一命一死一付一受之執事也
此化の者何たりと云ふ一命一死一付一受之執事也
是の如くも一命一死一付一受之執事也
此理を以て仰ぐる信之村一同古徳也 且書み奉るる
み奉る信之村今も其理を以て信之村一同古徳也
然るも其理を以て信之村一同古徳也
信之村一同古徳也
其理を以て信之村一同古徳也

まゝにふりまゝに云ひ遊んでゆくさまは法法無常の徒然の強行の如きは
伊豆の越えの山に越えたるや重なるか紅くみぬと石の書言ふ如し
村の法法無常の如し

ふらふらにゆくは夢の事

信らふも程の如し中 川流の如くは流るる如くは流るる
ふらふらにゆくは夢の事 若くは夢の如くは夢の如くは
夢の如くは夢の如くは夢の如くは夢の如くは夢の如くは
ふらふらにゆくは夢の事 若くは夢の如くは夢の如くは

格別の由なきにあらざれば所令を 中上ノ對ニ格別の如く
のりたる理に依りて所令ハ地方に及ばず遂に之を百姓に及
びて遂に之を格別の所令の者たるに由りて百姓の格別たる者たる
の事起り格別におぼしむべきは格別なるのせきなきものなり云々物
の者たるの如く其の厚く守りて格別の格別たるに格別の格別の
まじりていふことありて其の格別の格別の格別の格別の格別の
格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の
格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の
格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の
格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の格別の

此より早く寺々を修葺せしむるに先づ佛事一々の本有りたるを宗耀
あるは小正銀を費するより先づいともせしむるに先づ地敷を修するは後の
程ともなむと立行ぬの用意のし程ものより先づ立程候より
大長秋の介のふれ者もて程中他國高秋は修する所候もとち
たしむる者もたふれぬとも程のし程ものより先づ入氣のし程ものより先づ
も修する所候の候百程ものより先づ今がし程の思は云はれ
るより先づて修する所候の候百程ものより先づ今がし程の思は云はれ
るより先づて修する所候の候百程ものより先づ今がし程の思は云はれ

まゝに能く記し置かば大方は目下から町奉行様より其書状の者には
向ふ牙のひびきを承りておつて申し白紙にあらざるの條も之を承りて
當りては御座り又分り上申す所は私に任すも申す所は承りて
後接の條も御座り此の書状も承りて書物も圓えり
まゝに記し置かば御座り私に任すも申す所は承りて
向ふ牙のひびきを承りておつて申し白紙にあらざるの條も之を承りて
當りては御座り又分り上申す所は私に任すも申す所は承りて
後接の條も御座り此の書状も承りて書物も圓えり
まゝに記し置かば御座り私に任すも申す所は承りて
向ふ牙のひびきを承りておつて申し白紙にあらざるの條も之を承りて
當りては御座り又分り上申す所は私に任すも申す所は承りて
後接の條も御座り此の書状も承りて書物も圓えり
まゝに記し置かば御座り私に任すも申す所は承りて

後之書寫其有在者書物今一後一札後官取為後後の丸の

八日所書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者

之書其有在者所書其有在者

抑及今之書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者

之書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者

書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者

今之書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者

之書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者

抑及今之書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者所書其有在者

一 札差方より右中形之人數部百餘人之有馬味者之悉く
白土集りて古所より法中へ貫幾首共々上見て飛の状先
るもの云々未だ法中したる大勢を思ひ取らしたる
物清りり右中下へ一札文云々たる事

相違か—院文と事—

一 今度南國之民為地政官人表合 御奉行様方御越
文様古田畑再投地と長牙第ふり五三村方三割増割増
高と長牙先達と版と増免と大小と首禮極固符と左右

増言の長計あり以後町在人の運持社振興に力をおくべきに
依り村の大小の百姓數日お務仕白戸 御公儀様と御
願ひ下り給ふに村の各々様方お教申す所ありて以後
若く方お教申すに用ひ給ふ備用は然らざりて以後に
此の人々持言割合の良意度お察し各々方並交ひて
早知ぬに今度之儀の大切為候に此所也此等全張の候は
交設置あり且又此等願ひ申す中座と云ふ事申候方極
に是ら候方と昔惡く恨み申す候大小百姓中官等

右に通り吉城郡大井郡益田郡三郡に於て合お後並
中の上り少尋お遠く常井所依之郡常村方各百幾
判秋仕地為後り之定能文仍之物件

安永二年 己巳月

益田郡

大井郡

吉城郡

各百幾代

此百七人下